



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月31日

上場会社名 株式会社電算 上場取引所 東
コード番号 3640 URL <https://www.ndensan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 轟 一太
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 穂川 尚実 TEL 026-224-6666
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	11,522	9.4	784	—	794	—	586	—
2024年3月期第3四半期	10,530	△5.3	51	△90.8	△4	—	△22	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 697百万円 (—%) 2024年3月期第3四半期 △0百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	101.12	101.00
2024年3月期第3四半期	△4.27	—

(注) 2024年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	18,911	11,339	59.9	1,949.70
2024年3月期	19,547	10,830	55.3	1,867.72

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 11,328百万円 2024年3月期 10,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	17.00	—	20.00	37.00
2025年3月期	—	17.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	20.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	18,500	15.8	2,310	79.0	2,320	88.0	1,670	85.8	288.34

- （注） 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有
業績予想の修正については、本日（2025年1月31日）公表いたしました「業績予想の修正（上方修正）」に関するお知らせをご覧ください。
2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2024年3月31日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	5,837,200株	2024年3月期	5,837,200株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	26,731株	2024年3月期	45,381株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	5,801,495株	2024年3月期3Q	5,148,154株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、設備投資の持ち直しや企業収益の改善等により、緩やかに回復しております。先行きにつきましては、雇用・所得環境が改善するなか、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待される一方、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクや、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

情報サービス産業におきましては、ソフトウェア投資は増加しており、政府主導のデジタル実装を通じた地方活性化の推進や、生成AIの急速な進化と普及による経済効果等、持ち直しの傾向が続くことが期待されます。

このような状況のもとで、当社グループは、公共分野では、国が定める標準仕様に準拠したシステムの開発と稼働に向けた作業を順調に進め、2024年11月からファーストユーザーの運用を予定どおり開始し、当期の第4四半期に当該システムへの移行を予定する市町村等の準備作業を実施したほか、各種システムのリプレイスと新規導入、デジタル田園都市国家構想交付金を活用した地方公共団体の取組みの支援等の提案と受注活動に注力しました。産業分野では、リース業務パッケージ、医療福祉機関向けの病院情報関連システム、製造業向けの販売管理システムやAI外観検査システム等の提案と受注活動に注力しました。また、VR(※1)、AR(※2)、NFT(※3)等の技術を活用した観光向けデジタルコンテンツサービスの展開等を引続き実施しております。

さらに、今後も積極的な事業展開を進めることで、さらなる企業成長を図るため、公共分野の主力製品である総合行政情報システム「Reams」の新製品にかかる研究開発を当第3四半期から開始しております。この研究開発により、デジタル庁が示すクラウド最適化に対応するとともに、利用者の作業効率や操作性の向上を実現し、「Reams」の競争力を強化してまいります。

当第3四半期連結累計期間におきましては、主に、公共分野での各種法制度改正への対応、標準準拠システムの移行等の受注が順調に進展し、前年同四半期と比べ、増収増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,522百万円（前年同四半期比9.4%増）、営業利益は784百万円（前年同四半期は51百万円の営業利益）、経常利益は794百万円（前年同四半期は4百万円の経常損失）及び親会社株主に帰属する四半期純利益は586百万円（前年同四半期は22百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

<公共分野>

定例業務である住民税・後期高齢者医療・国民健康保険・介護保険等の受託処理、総合行政情報システム等のシステム保守のほか、児童手当の支給対象拡充対応、介護保険等の法制度改正対応、所得税・個人住民税の定額減税の対応、標準準拠システムの導入作業と移行に向けた準備作業、自治体システム標準化に伴う戸籍総合システムとコンビニ交付システムの対応等で売上を計上するとともに、各作業を効率的に進めたことで利益を確保し、前年同四半期と比べ、増収増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,355百万円（前年同四半期比14.1%増）、営業利益は549百万円（前年同四半期は191百万円の営業損失）となりました。

<産業分野>

定例業務である口座振替・給与計算等の受託計算処理、インターネット接続サービス、リース業務パッケージ等のシステム保守、データセンターサービス提供のほか、リース業務パッケージ、健診システム、電子カルテシステム等の受注により、前年同四半期とほぼ同等の売上を確保したものの減収となりました。利益につきましては、各種システムの導入作業を順調に進めたことにより、前年同四半期と比べ、増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,167百万円（前年同四半期比1.3%減）、営業利益は235百万円（前年同四半期比9.0%増）となりました。

- ※1 仮想現実 (Virtual Reality) の略。コンピューターによって創り出された仮想的な空間等を現実であるかのように疑似体験できる技術のこと。
- ※2 拡張現実 (Augmented Reality) の略。コンピューターによって、現実世界に仮想世界を重ね合わせて表示する技術のこと。
- ※3 非代替性トークン (Non-Fungible Token) の略。絵や写真、動画や音楽等のデジタルデータの所有や価値等を証明するもの。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して635百万円減少し、18,911百万円となりました。これは主に、商品が673百万円、現金及び預金が624百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が1,927百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末と比較して1,144百万円減少し、7,572百万円となりました。これは主に、短期借入金が360百万円、賞与引当金が299百万円、1年内返済予定の長期借入金が222百万円、長期借入金が210百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して508百万円増加し、11,339百万円となりました。これは主に、利益剰余金が358百万円、その他有価証券評価差額金が110百万円増加したことによるものです。

なお、自己資本比率は、59.9%（前連結会計年度末55.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績動向等を踏まえ、2024年5月15日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました2025年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表しております「業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,601,636	2,226,374
受取手形、売掛金及び契約資産	5,976,450	4,049,236
リース投資資産	1,369,682	1,234,568
商品	71,164	744,840
原材料及び貯蔵品	47,604	46,454
その他	748,209	755,177
貸倒引当金	△47	△45
流動資産合計	9,814,700	9,056,606
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,221,692	4,010,840
その他（純額）	2,160,119	2,196,572
有形固定資産合計	6,381,812	6,207,413
無形固定資産		
ソフトウェア	1,210,731	2,136,410
その他	715,189	37,221
無形固定資産合計	1,925,921	2,173,631
投資その他の資産		
その他	1,435,700	1,484,623
貸倒引当金	△10,332	△10,365
投資その他の資産合計	1,425,368	1,474,257
固定資産合計	9,733,102	9,855,302
資産合計	19,547,803	18,911,909

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	997,837	1,021,473
短期借入金	2,172,000	1,812,000
1年内返済予定の長期借入金	564,000	342,000
未払法人税等	4,930	19,119
賞与引当金	600,893	301,262
製品保証引当金	10,832	10,622
その他	1,431,819	1,520,605
流動負債合計	5,782,312	5,027,084
固定負債		
長期借入金	730,000	520,000
退職給付に係る負債	1,253,100	1,229,330
その他	951,408	796,017
固定負債合計	2,934,509	2,545,348
負債合計	8,716,822	7,572,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,395,482	1,395,482
資本剰余金	1,044,925	1,044,925
利益剰余金	8,353,889	8,712,353
自己株式	△101,767	△59,922
株主資本合計	10,692,530	11,092,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,820	200,886
退職給付に係る調整累計額	34,122	34,944
その他の包括利益累計額合計	124,943	235,831
新株予約権	13,507	10,806
純資産合計	10,830,980	11,339,475
負債純資産合計	19,547,803	18,911,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	10,530,267	11,522,750
売上原価	7,264,095	7,666,039
売上総利益	3,266,172	3,856,711
販売費及び一般管理費	3,214,714	3,071,918
営業利益	51,457	784,793
営業外収益		
受取利息	72	469
受取配当金	10,462	11,254
その他	4,935	11,145
営業外収益合計	15,471	22,869
営業外費用		
支払利息	11,705	12,733
支払手数料	54,045	—
その他	5,188	0
営業外費用合計	70,939	12,733
経常利益又は経常損失(△)	△4,009	794,929
特別損失		
投資有価証券評価損	—	689
特別損失合計	—	689
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,009	794,239
法人税、住民税及び事業税	9,511	107,678
法人税等調整額	8,479	99,928
法人税等合計	17,990	207,607
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,000	586,632
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,000	586,632

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△22,000	586,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,979	110,065
退職給付に係る調整額	1,513	822
その他の包括利益合計	21,492	110,887
四半期包括利益	△507	697,519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△507	697,519
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	586,089千円	589,478千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共分野	産業分野	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,320,862	3,209,405	10,530,267	—	10,530,267
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	675	675	△675	—
計	7,320,862	3,210,080	10,530,942	△675	10,530,267
セグメント利益又は損失(△)	△191,064	216,064	24,999	26,458	51,457

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額26,458千円には、セグメント間取引消去△583千円、各報告セグメントに配賦していない配賦差額27,042千円が含まれています。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共分野	産業分野	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,355,028	3,167,721	11,522,750	—	11,522,750
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	697	697	△697	—
計	8,355,028	3,168,419	11,523,448	△697	11,522,750
セグメント利益	549,188	235,420	784,608	184	784,793

(注) 1. セグメント利益の調整額184千円には、セグメント間取引消去△642千円、各報告セグメントに配賦していない配賦差額826千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。